
一番街商店街振興組合活性化計画

1. 一番街商店街組合加盟の現状
2. 一番街商店街の現状
3. 一番街商店街活性化の方向性
4. 一番街商店街の目標
5. 取組内容
6. 事業一覧
7. 推進体制

平成20年3月13日
一番街商店街振興組合

1. 一番街商店街組合加盟の現状

- 組合員数は23店舗である。
- 商店街組合員の業種を見ると、衣類身の回り品や買い回り品を扱う店舗が中心である。次いで、飲食店が多い。
- ビジネスホテル、食品スーパーが組合加盟している。地元信用金庫が賛助会員として加盟している。

(1) 一番街商店街店舗一覧

	屋号	主な取扱品目	分類※
1	呉服の柴宗	呉服	衣類身の回り品
2	宝石時計めがね すずき	宝石時計眼鏡	衣類身の回り品
3	タカラデンキ	家電	家具・買い回り品
4	シティホテルアンティーズ	ビジネスホテル	旅館
5	居酒屋 HARU	居酒屋	その他飲食店
6	山六花かつお店	かつお節小売	飲食料品
7	アオイ額縁店	美術品販売	家具・買い回り品
8	ユートピア若宮の店	雑貨販売自立センター	衣類身の回り品
9	フレッシュフーズヤオダイ	スーパー	スーパー
10	ラウンジキャンビー	スナック	その他飲食店
11	食亭末武	スナック	その他飲食店
12	居酒屋角屋	居酒屋	その他飲食店
13	ノリオリオ	創作陶器販売	家具・買い回り品
14	Shop88	通信販売	衣類身の回り品
15	フォーユー	文具	家具・買い回り品
16	ロージーヘアー	美容院	サービス
17	松原・大宮司法書士事務所	事務所	専門サービス業
18	ヤナセ時計店	宝石時計眼鏡	衣類身の回り品
19	キッチン&リビングイタクラ	家庭用品	家具・買い回り品
20	パンチーズハウス	タコス	飲食店
21	ホンダ薬局	薬・調剤	その他
22	羽根田理容	理容室	サービス
23	フランキーズドック	ハンバーガー、ホットドック	飲食店

(2) 業種・取扱品目別店舗数

小売	衣類身の回り品	5
	家具・買い回り品	5
	飲食料品	1
	その他	1
		12
飲食	飲食店	2
	その他飲食店	4
		6
サービス	サービス	2
	専門サービス	1
		3
旅館		1
スーパー		1
	合計	23

■位置図



※経済産業省「産業分類」に基づく

2. 一番街商店街の現状

(1) 一番街商店街（商業集積）の現状、与件

※商店街勉強会からの意見集約

項目	内容
商店街の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街というイメージが薄い。店舗の連続性が欠けている。特に南方面は店舗密度が低い。 ・商店街のサイン（案内看板）がない。 ・呉服店やかつおぶし屋など古くからの店舗、老舗がみられる。 ・建物建替えや店舗の入れ替えも発生しており、店舗の更新がある。 ・商業施設・ホテル・スポーツセンター・マンションで構成された再開発ビル「コモスクエア」、大型マンション、銀行など大規模施設と隣接している。 ・商店街内の店舗間のつながりが薄い。
商店街を取り巻く環境とインフラ等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・（都）竹生線がリニューアルされる→平成20年度完成予定 ・桜城址公園がリニューアルされる→平成20年度完成予定 ・駅へのアクセスとして自動車の交通量が多い。 ・商店街へのアクセスとして自動車依存である。公共交通手段が少ない。 ・人通りが少ない。

(2) 一番街商店街（商業集積）組合員意識調査から見る現状

■現在の悩み	店舗数	■今後の意向	店舗数	■まちづくりに必要だと思うこと	店舗数
客数が伸び悩んでいる	9	店舗を改装・改築したい	5	駐車場の整備・確保により車による来街者の受け皿づくりをする	11
売上が伸び悩んでいる	8	閉店・廃業を考えている	3	現況の商店街や通りに個性を持たせる	8
経費が増加している	5			魅力ある店舗・テナントを誘致する	8
粗利益が低下している	4	■お店の後継者について	店舗数	都心の駅、ターミナル機能を強化し、交通の利便性を高める	5
郊外の大型店の影響をうけている	4	自分の代でやめるつもり	7	歓楽街など夜のにぎわいをつくる	4
駐車場の確保が困難である	4	後継候補はいるがまだ引き継いでいない	4		
運転資金が足りない	3	後継候補はいないが誰かに引き継ぎたい	2		
後継者がいない決まらない	3	実質的に後継者に引き継いでいる	1		
店舗が老朽化している	3				

資料：平成18年度豊田市商業意識調査より
 一番街商店街（振）回答数17店舗
 " 組合員数23店舗

3. 一番街商店街活性化の方向性

(1) 商店街の魅力

①日用品、飲食店、食料品など日々の生活に必要な買い物ができる

- ・日用雑貨、食品スーパー、理美容店がある。
- ・新しい店舗は飲食店が多い。

②老舗など本物志向の店舗がある

- ・豊田の商業を支えてきた店舗が現在も継続している
- ・古くからの呉服店、宝飾店が多い

③新しい店舗進出により若い組合員が増加している

- ・賃貸店舗に新たに出店し、若い組合員が増加している

④近隣に来街客となり得る与件がある

- ・大型マンションが増加している
- ・スポーツセンターや商業など時間消費型の施設ができた
- ・地元銀行の建て替えやオフィスの増加により昼間人口が増加している
- ・近隣にジャスコ豊田店がある

(2) 商店街の問題点

①それぞれの店舗の魅力が活かしきれていない

- ・商店街内でも他店の取り扱い商品について良く知らない場合がある
- ・商店街の告知看板、チラシなどがなく店舗の認知度が低い

②店主の高齢化、後継者不足問題がある

- ・「自分の代でやめるつもり」が7件ある
- ・店主の年齢層を見ると60歳代と70歳代をあわせて10軒となり、組合員の約半数となる。

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計
0軒	6軒	3軒	4軒	5軒	5軒	23軒

③店の客数、売上が伸び悩んでいる店舗が多い

- ・商業者意識調査の結果から見ると、客数・売上が伸び悩んでいる店舗が半数ある。

④公共交通、駐車場など来街手段の整備がされていない

- ・豊田市中心市街地であるが公共交通がない
- ・車依存率が高いが、商店街全体の駐車場はない



(3) 活性化の方向性（課題）

- ◎近隣の集客施設や居住施設のお客さまを惹き付け、着実に商いにつながる方策が必要である。
- ◎空き店舗への対応、新規創業者の導入や誘致が必要である。
- ◎商店街（商業集積がある）らしい演出や景観づくりが必要である。

4. 一番街商店街の目標

(1) 商店街の目標

〈活性化の方向性（課題）〉

- ◎近隣の集客施設や居住施設のお客さまを惹き付け、着実に商いにつながる方策が必要である。
- ◎空き店舗への対応、新規創業者の導入や誘致が必要である。
- ◎商店街（商業集積がある）らしい演出や景観づくりが必要である。

一番街商店街活性化のコンセプト

※ **変わらない信頼。変わっていくストーリー。**

一番街商店街3ヶ年の目標

- 1 いつ来ても居心地の良いまち空間、お店・サービスを提供する商店街となる
- 2 高質なライフスタイルを提案し『一番街商店街』ファンを創る
- 3 竹生線道路リニューアルを契機に商店街の存在を特徴づける街並みを創る
- 4 建物（特に1階）の店舗化を維持・推進する

※ 豊田市中心市街地活性化基本計画（案）に、一番街商店街を含む（都）竹生線沿線商店街は本物志向の生活者をターゲットとした「老舗街道」と位置づけられている。
当計画策定の前提として、H18年度豊田市中心市街地商業機能等再配置実行計画の「老舗街道」計画を考慮した。
一番街商店街活性化計画の中では、「老舗」＝「消費者より信頼される店づくり」と結論づけた。



期待される効果

- ・周辺居住者の日常的な来街が期待され、リピーターの増加により日常性商業が活性化される
- ・広域集客スポットとして成長・発展が期待され、中心市街地全体の来街者の増加が見込まれる
- ・人々に愛され、居心地の良い商店街が生まれることが期待される

(2) 数値目標

①中心市街地全体の来街者の増加に寄与する

- ・歩行者通行量の増加を目指す

計測地点：藤屋呉服店前の平成18年度歩行者通行量
平日1,101人／休日551人 → 平日1,200人 約10%増／休日600人 約5%増

注）・「豊田市中心市街地の通行量調査」の数値を採用した
・平成19年は該当地点は、竹生線整備工事中である。与件を考慮し、平成18年度を基準とした4年間（平成22年）の目標とする。

②日常商業の活性化、愛される商店街としての効果

- ・加盟組合員数の増加を目指す

平成20年 23店舗
→ 平成22年 25店舗

目標1 いつ来ても居心地の良いまち空間、お店・サービスを提供する商店街となる

- ・ 生活者の憩いの場を提供する（ターゲットは周辺居住者）
- ・ 太陽の日差しが心地よい（まち空間はオープンエア）
- ・ 人と人とのふれあいがある（コミュニティ）

開放的な店づくりの検討

公共空間を利用した展開『スモールカフェ』



対面販売



『毎月1日の日祭』 定期的な売り出しやサービス、催しの実施

パフォーマンスや音楽、寄席などの実施、懐かしい写真や商品、道具の展示



商店街サービスチケットの発行

- ・ 毎月1日サービスデー など
- ※定期的なイベントと組み合わせる

『従来の取組み内容の継続と強化』

- ・ ふれ愛フェスタ（ダンボール迷路）
- ・ イルミネーション
- ・ 年末抽選会

来街手段の整備、誘致への働きかけ

- ・ お買い物バス（公共交通）の誘致
- ※交通政策課と協議が必要
- ・ 商店街駐車場確保の検討

5. 取組内容

目標2 高質なライフスタイルを提案し『一番街商店街』ファンを創る

- ・ オリジナリティとホンモノの質を提供しお客様と信頼の絆を育む
- ・ ロードサイドを活かした広域商圏を目指す（ターゲットは本物志向の生活者）
- ・ わざわざ行く価値がある（来店目的は逸品獲得）

一店逸品運動への参加、逸品の開発

市商連主催の一店逸品運動への積極的な参加を目指す。既に参加している組合員がまだ参加していない組合員に対して活動内容を説明し、新たな参加者を勧誘する。

店舗の特徴やライフスタイルの提案を情報発信する

①『お店拝見ツアー』による店舗の特徴の紹介



店主が、商店街を含む一帯を歩いて案内し、マンション新規入居者らに楽しんでもらう。「普通では聞けないようなお店の特徴」などお店を深く掘り下げた内容を盛り込むことが必要。一番街商店街を起点に、桜城址公園、挙母神社など史跡巡りも行う。普段行かないような路地や昔の面影が残る場所も紹介。

②商店街マップの作成



③お店紹介BOOKなど定期的な情報の発信

- 内 容
- ・ お店の基本的情報（営業時間、定休日、扱い商品など）
 - ・ お店のこだわり、特徴の紹介
 - ・ 隣のお店紹介シリーズの実施（口コミ情報提供）
 - ・ サービスの紹介（こんな特典がある）
- 方 法
- ・ 情報誌、かわら版など紙媒体の発行
 - ・ オンラインショッピングやメールマガジンなどWeb発信
 - ・ 豊田市自立移動支援実験と連動 ← **市交通政策課と調整**

目標3 竹生線道路リニューアルを契機に商店街の存在を特徴づける街並みを創る

・公共整備と連動した商店街ハード整備を行い、街区の魅力化を図る

街路灯リニューアル整備

街路灯 A案

仕様一覧		
部品名	数量	仕様
灯具	1	形: CUC規格型 550* LED 40W×2
ポール	1	57K φ145.2 × φ114.2 亜鉛めっき下地 指定色塗装仕上げ
アーム	1	57K φ114.2 × φ60.8 亜鉛めっき下地 指定色塗装仕上げ

オシャレな日よけの設置の検討



取り扱い商品をイメージした袖看板や店ごとのモニュメントやマスコットの設置を検討



打ち水大作戦

毎年、大暑～処暑は『全国いっせい打ち水』週間です。(昨年は7/23～8/23)

- ・この期間は、一番街商店街も定時刻にいっせい打ち水を行う。
- ・打ち水作戦日を設定し、一大イベント日とする。

例) 浴衣で打ち水大作戦



例) 打ち水ちなんだグッズ作りの開催



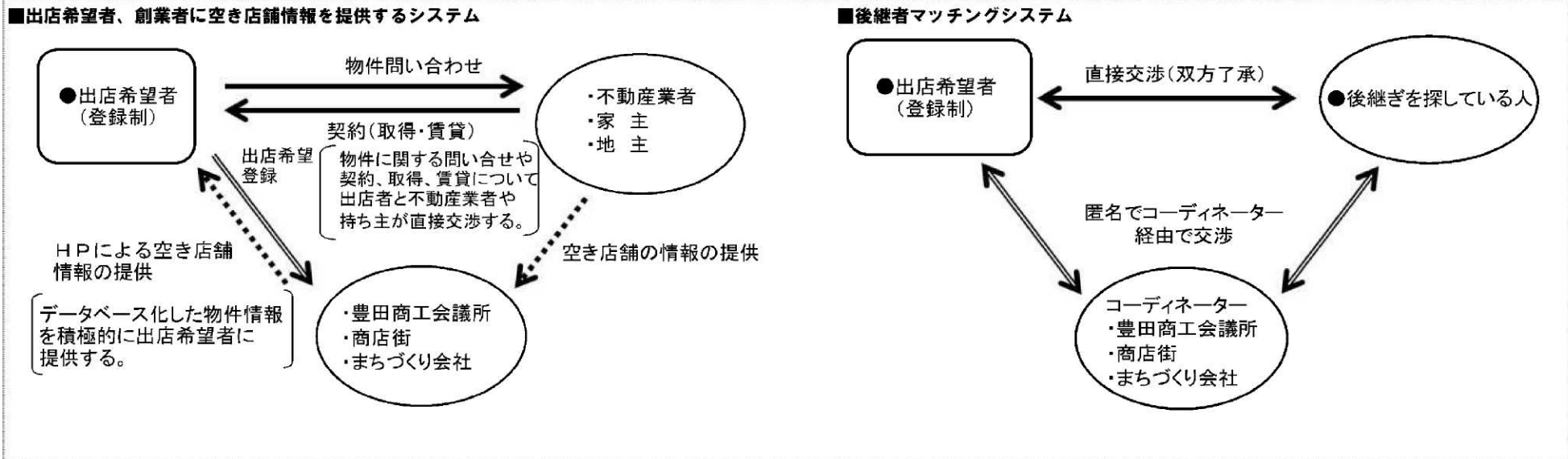
ペットボトルの水差しや間伐材の柄杓と桶など
リサイクル材料を活用したグッズ作りも検討

平成20年度(21年3月)道路リニューアル予定
歩道が保水機能の舗装材になると仮定しての取組み

目標4 建物（特に1階）の店舗化を維持・推進する

- ・ 空き店舗および後継者のいない店舗の対策
- ・ 現在営業店舗の魅力アップ

空き店舗、後継者のいない店舗へ新規創業者を商店街として積極的に誘致する



- ↑ ・ 中心市街地活性化基本計画の民間事業「空き店舗対策（マッチングシステム）」を活用する。
 ・ 豊田市がんばる商店街応援プラン「新規創業者支援制度の活用」

現在営業店舗の魅力アップを支援する

- ・ 豊田市がんばる商店街応援プラン「経営革新、業態転換支援制度」「無利子融資制度」の活用

■一番街商店街の不足業種、業態について

一番街商店街内の活性化の方向性で「近隣集積施設」を活用すること挙げた。

したがって、「平成18年度豊田市中心市街地商業機能等再配置実行計画/具体的な商業・サービスや機能の配置計画」で“①必要と思われる機能”に準ずる。

6. 事業一覧

事業名		内容	実施時期		
1	新規	開放的な店づくりの検討	スモールカフェ、対面販売などコミュニティを意識した店づくりを検討	H20年度～	
2	新規	写真、道具、商品の展示	銀座通りといわれた時代展	H20年度～	
3	新規	1の日祭	ライブ、寄席、フリーマーケット	H21年度～	
4	新規		商店街サービスチケット発行	H21年度～	
5	継続	いつ来ても居心地の良いまち空間、お店、サービスを提供する商店街となる	ふれ愛フェスタ	ダンボール迷路など子ども向けや顧客感謝のイベント	H20年度～
6	継続		イルミネーションストリート	冬のイベント	H20年度～
7	継続		年末抽選会	顧客感謝の意を込めたセール、抽選会の実施	H20年度～
8	新規		来街手段の整備、誘致への働きかけ	お買い物バス誘致の推進 路線バス、または巡回バス停の誘致	H20年度～
9	新規			商店街駐車場の検討	H20年度～
10	新規		一店逸品運動	市商連主催の一店逸品運動への積極的な参加を目指す	H20年度～
11	新規		高質なライフスタイルを提案する商店街として再生を図し 『一番街商店街』ファンを創る	お店拝見ツアーによる店舗の特徴の紹介	H21年度～
12	新規			店舗の特徴やライフスタイルの提案を情報発信する	商店街マップの作成
13	新規	お店紹介BOOKなど定期的な情報発信		H21年度～	
14	新規	竹生線道路リニューアルを契機に商店街の存在を特徴づける街並みを創る	街路灯リニューアル整備	安全・安心なまちづくりに寄与する街路灯の設置	H20年度～
15	新規		オシャレな日よけ設置の検討	買い物客（往来）のための日よけ、雨よけ用に設置を検討	H20年度～
16	新規		看板設置の検討	取り扱い商品をイメージした袖看板またはモニュメントやマスコットの設置を検討	H20年度～
17	新規		打ち水の日開催	7月～9月毎日12時	H21年度～
18	新規	建物の店舗化を維持・推進する	新規創業者誘致	空き店舗対策「マッチングシステム」、市施策を活用	H20年度～
19	新規		営業店舗の魅力アップ	市施策を活用	H20年度～

7. 推進体制

一番街商店街の若手メンバーを核とし、理事会が内外に対して支援をするという形で推進する。

【若手メンバー】 本多勝幸（ホンダ薬局）、鈴木政勝（宝石時計めがね すずき）、河原克彦（呉服の柴宗）、永山慎二（シティホテルアンティーズ）、深津康仁（パンチーズハウス）、菊池大介（フランキーズドック）